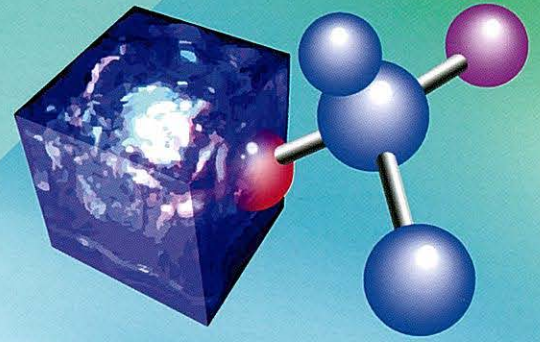


BNC  
#  
173B

# 京都大学 低温物質 科学研究 センター誌

(LTM センター誌)



## Low Temperature and Materials Sciences [Kyoto University]

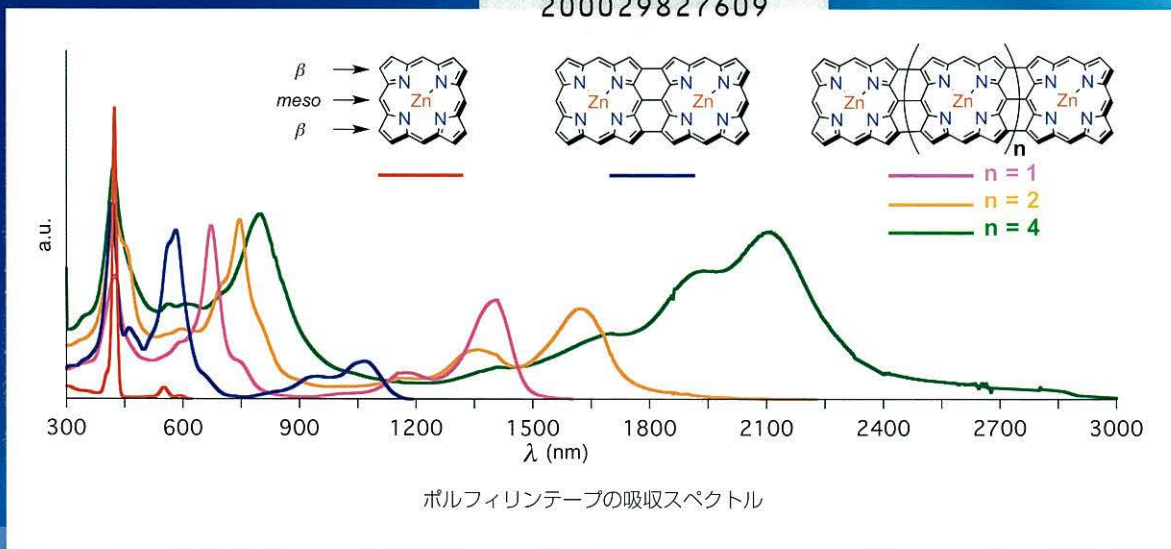


Kyoto University Library

京都大学 図書



200029827609



第23号  
2013.12

# 目 次

第 23 号 2013 年 12 月

## 研究ノート

Ti<sub>2</sub>O 正方格子を有する新超伝導体 BaTi<sub>2</sub>Pn<sub>2</sub>O (Pn = Sb, Bi) ..... 矢島 健 ... 3

ハイブリッドポルフィリンテープの合成と物性 ..... 田中隆行, 大須賀篤弘 ... 11

## サロン

工学部液体窒素貯蔵所の歴史 ..... 宮嶋直樹, 家原力太郎 ... 18

センターセミナー報告 ..... 22

## 運営委員会より

寒剤供給状況 吉田キャンパス・宇治キャンパス・桂キャンパス ..... 27

専任教員名簿 ..... 29

投稿案内 ..... 30

編集後記 ..... 31

Table of Contents

**Research Reports**

Novel Superconductors  $BaTi_2Pn_2O$  ( $Pn = Sb, Bi$ ) with  $Ti_2O$  square lattice  
..... Takeshi Yajima ...3

Synthesis and Properties of Hybrid Porphyrin Tapes  
..... Takayuki Tanaka and Atsuhiko Osuka ... 11

**Salon**

History of Liquid Nitrogen Storage Tank at Main Campus  
..... Naoki Miyajima, Rikitaro Iehara ... 18

**LTM Center Seminars**.....22

**From Organizing Committee**

Amounts of Cryogen Consumptions : Yoshida Campus, Uji Campus and Katsura Campus..... 27

Research staffs of the LTM center..... 29

**Call for Manuscript**.....30

**Editor's Note**.....31

「京都大学低温物質科学研究センター誌（LTMセンター誌）」への投稿の  
お誘い並びに原稿の作成要領

Call for Manuscripts for  
"Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University)"

吉村一良<sup>1,2</sup>, 編集委員会<sup>2</sup>

<sup>1</sup>京都大学大学院理学研究科, <sup>2</sup>京都大学低温物質科学研究センター

K. Yoshimura<sup>1,2</sup> and Editorial Committee<sup>2</sup>

<sup>1</sup>Graduate School of Science, Kyoto University,

<sup>2</sup>Research Center for Low Temperature and Materials Sciences, Kyoto University

所属の後にAbstractを数行、英文で書いてください。

## 1. はじめに

「京都大学低温物質科学研究センター誌（通称：LTMセンター誌，英文名：Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University)）では，低温物質科学研究センターが提供する寒剤・共通機器の利用者の皆様や関係者の皆様より「研究ノート」，「技術ノート」，「サロン」への投稿を歓迎いたします。投稿されました原稿は，編集委員会で審議のうえ掲載の可否を決定いたします。投稿にあたっては，電子ファイルを下記✦宛にお送りください。また，併せて印刷原稿も✦宛に郵送または持参いただきますようお願いいたします。初校刷りは電子ファイルより作成しますので，以下第2章を御参照のうえ MS-Word を用いて作成してください。 InDesign または QuarkXPress のファイルでも結構です。また，pdf ファイルも併せてお送りください。なお，編集委員会からの原稿依頼も行いますので，依頼させていただいた際にはよろしくお願い申し上げます。

## 2. 原稿の作成要領

A4用紙（レターサイズではありません）の上下左右に25 mm ずつマージンをとって，和文表題，英文表題，和文著者・所属，英文著者・所属，アブストラクト（英文），本文，参考文献，著者写真（35mm（幅）×40mm（高さ）），著者略歴の順に記述してください。1 ページ目は，必ず上から5 cm程度余白を空けて表題を書いてください。本文1行あたり全角45文字，1ページあたり40行を基準にしてください。漢字・かな・カナにはMS明朝，英字・数字には必ずTimes New Roman，本文中の見出しにはMSゴシック（またはこれらに準じる書体にしてください。ボールドは避けてください。）を使用してください。表題は14 point，著者・所属は12 point，本文は10.5 point，図・表のキャプションは10 pointの文字を用いてください。本文中，物理記号を表す記号は斜体（イタリック），単位記号は立体（ローマン）で表記し，物理量と単位の間や数字と記号の間にはスペースを1個入れてください。また，章の間にもスペースを1行設けてください。句読点は「.,」に統一してください。

図は高解像度のものを本文中に貼り付けてください。カラー印刷が可能ですので，できるだけカラーの図を使用してください。印刷原稿の右下に鉛筆でページ番号を振ってください。その他の細部については，本稿ならびに下記Ref. [1,2] のスタイルを参考にしてください。

## 参 考 文 献

[引用番号] 著者名，雑誌名，巻数，最初のページ番号，年の順でお願いします。  
例)

[1] 寺嶋孝仁，京都大学低温物質科学研究センター誌 **8**, 26 (2005).

[2] K. Mibu, Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University) **1**, 13 (2003).

✦ 京都大学低温物質科学研究センター誌編集委員会，〒606-8501京都市左京区吉田本町，  
TEL：075-753-9521, FAX: 075-753-9521, E-mail: [terashim@scl.kyoto-u.ac.jp](mailto:terashim@scl.kyoto-u.ac.jp)（寺嶋孝仁）。

低温物質科学研究センターは学内共同教育研究施設として 11 回目の年末・年始を迎えようとしています。独自研究と学内支援(寒剤供給・共同利用機器の提供)が本センターの使命であり、特に後者については、センター長ならびに本センター各委員会の委員、さらには、共同利用機器の運用等についてボランティア的に御協力下さっている皆様の御援助により円滑に遂行されています。

センターに関わる人々の流れを振り返ると、現在の吉村先生を 4 代目としてセンター外の先生方にセンター長をお努めいただいております。また、専任教員についてもセンター設立以降 7 名の転出や定年退職がありました。定員 9 名の小部局としては相当な割合の異動があったことになります(本稿著者自身も、所属研究グループの教員としては 2 代目となります)。センター内での独自研究の方向性は、特に専任教員の交代に伴い変化して来ました。一方で、これだけの人の出入りがありながら学内支援についての方向性は変わることはありませんでした。安定した寒剤供給システムの維持・発展、および、研究者どうしが直接に接しあう計測機器の共同利用が行われてきました。この一貫性は、センター外からの御援助に支えられながら、真に必要な学内支援を最適な方法で本センターが実践して来たことの証であると自負しております。

本誌前号と前々号の編集後記にもありました通り、昨今の学内組織改革の流れの中で本センターにも改組の要求が突き付けられております。改善すべき状態にあるものに対して、私利私欲をもって逆らうつもりは毛頭ありませんが、本学の教育研究環境を劣化させる様な選択を行う事は現状維持よりも愚かなことは明らかです。本センターは学内の要望に応じてボトムアップ的に、かつ、小規模とは言え理想に近い組織形態で発足しました。その機能を低下させる様な形への変化は、本センターを利用し同時に支えて下さっている学内の教職員や学生の皆様への裏切りとなるのみならず、センター発足時にその趣旨を御理解下さり純増定員を配して下さった文部科学省に対する詐欺行為に他なりません。今後、本センターの組織と運営形態がどのように『改善』されて行くか未だ不透明な段階ですが、血税からの御援助をいただきながら学問を行う機関としての本学の機能を『少なくとも低下させない』方向に向かわなくてはなりません。

低温物質科学研究センターが本学の一部局として、全学により益する活動方向を見極め、実践して行くため、本稿の場をお借りし、今後とも皆様の御指導と御援助をお願い申し上げます。

矢持 秀起

京都大学 低温物質科学研究センター誌

Low Temperature and Materials Sciences

(Kyoto University)

第23号 2013 年 12 月 Volume 23, December 2013

編集委員会：寺嶋 孝仁 (編集委員長)、吉村一良、

矢持 秀起、石田 憲二、中村 裕之、

芝内 孝禎、藤原 直樹、前里 光彦

事務局：〒606-8501京都市左京区吉田本町

京都大学 低温物質科学研究センター

Tel:075-753-9521 Fax:075-753-9521

E-mail: terashim@scl.kyoto-u.ac.jp(寺嶋孝仁)

印刷：創文堂印刷

研究ノート

- p3 ·  $Ti_2O$ 正方格子を有する新超伝導体 $BaTi_2Pn_2O$  ( $Pn = Sb, Bi$ )  
—— 矢島 健
- p11 · ハイブリッドポルフィリンテープの合成と物性  
—— 田中 隆行, 大須賀篤弘

サロン

- p18 工学部液体窒素貯蔵所の歴史 —— 宮嶋 直樹, 家原力太郎

p22 センターセミナー報告

運営委員会より

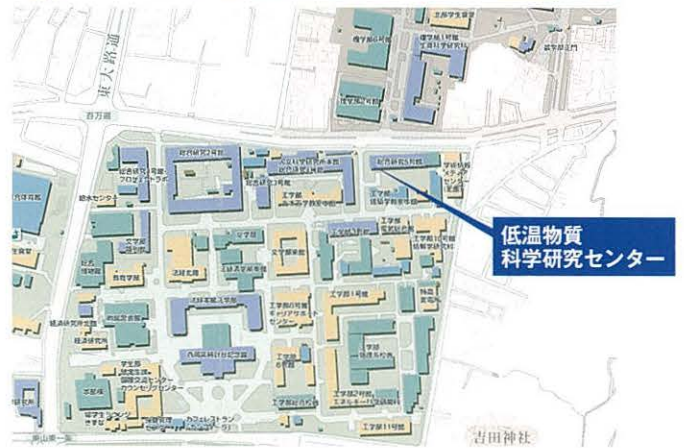
- p27 · 寒剤供給状況 吉田キャンパス・宇治キャンパス・桂キャンパス
- p29 · 専任教員名簿

p31 編集後記

吉田キャンパス (北部)



吉田キャンパス (本部)



宇治キャンパス



桂キャンパス

